

BUSINESS

リーダーになる!

実践する上司学。
嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コラム。



嶋津良智 ■ リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

第95回 職場環境の見直し

職場環境の良し悪しは仕事の効率にかかわります。大掛かりな改造は不要ですが、上司として部下が働きやすい環境を整えましょう。

職場の雰囲気
リーダー色を反映

職場環境によって、仕事の効率が変わるといえるのはよく聞く話です。2005年ごろには、インテリアデザインなど頼んで、オフィスを改造するのがちよつとしたブームになったこともありました。

を整理したりして、働きやすい環境を整えることほとても大切です。

オフィスは、リーダーのキャラクターや嗜好(しこう)によつて、雰囲気が変わるものです。きれいな好きのリーダーだと職場全体がきれいになるし、無頓着な人だと、全体的に雑然としてくるものです。

すい状態を保つよう心掛けてください。また、職場環境という話の延長で、どんな仕事をどこでやればいいのかという点も、上司なら気を使うべきでしょう。

ミーティングの場所
TPOに合わせて

もつとも顕著な例を挙げれば、「この話は、どこですべきか」を考えるとどうです。部下と話をするといつもも部下の席へ行くこともあれば、自分の席に来てもらうこともあります。

シヨンに対応し、周囲への配慮などを総合的に考えて、適切な場所で仕事を行うようにしましょう。

わたしは、ちよつと議論になりそうだなという話には、会議室や喫茶店などを利用して、多くの部下の前ではやらないようにしています。単純に、近くで議論なんてされていたら、仕事の邪魔になりますし、「何を議論しているのかな」と周りも気にならなうからです。



になったのなら、職場環境を大切にするという意味で、すべての部下が働きやすいような状態になっているかどうか一度チェックしてみてください。

載) 『上司のルール』より転